



図書だより

NO.7



新年あけましておめでとうございます。年末年始みなさんはどう過ごしましたか？年が明けると、もう進級や卒業がすぐ近くです。今年度でやり残したことはありませんか？新生活が始まるまで、約三か月しっかりと準備していきましょう。

新しい年がスタートしたので、読書を始めるきっかけとしてもいいですね。新しい本も続々と入ってきていますので、ぜひ、図書室へ立ち寄ってください。

新しい本



タイトル	著者	出版者
一冊でわかる幕末	大石学	河出書房新書
ナナメの夕暮れ	若林正恭	文藝春秋
「お話上手さん」が考えていること	おばけ3号	KADOKAWA
口ぐせの心理学	牧村和幸	河出書房新書
身近な科学が人に教えられるほどよくわかる本	左巻健男	SBクリエイティブ
メンタル強め美女白川さん	獅子	KADOKAWA
言いにくいことははっきり言うにゃん	Jam	笠間書院
はじめての感染症図鑑	岡田晴恵	日本図書センター
友だちってなんだろう？ひとりになる勇氣、人とつながる力	齋藤孝	誠文堂新光社
ひとりぼっちの幸せ	みつはしちかこ	イースト・プレス

など多数入っています。詳しくは HP をご覧ください。

おすすめの本

夜明けのすべて / 瀬尾まいこ / 水鈴社



同じ会社で働く PMS で月に一度イライラを抑えられず苦しむ藤沢さんと、パニック障害によりすべての氣力を失った山添くんの物語。友情でも恋でもなく、ただただ、お互いがお互いを思いやる気持ちに心がホッと温くなる作品です。いつ PMS がやってくるかわからない不安や、いつパニック発作が起こるかわからない恐怖、二人の先の見えない闇から、二人の関係性や周囲の理解の中で一筋の光が差し込みます。また、お節介な二人の突拍子もない会話が面白く温かく心を癒してくれます。誰もが抱えるつらさに、大きさは関係ありません。ただ、ひとりで抱え込むだけでは重すぎます。好きとか嫌いとか関係なく、何気ない優しさと気配りのできる思いやりのある人になりたいものですね。

ずーっとずっとだいすきだよ / ハンス・ウィルヘルム / 評論社



私の大好きな絵本を紹介します。犬のエルフィーと少年のお話です。思っているだけでなく、気持ちをしっかりと言葉として伝えることの大切さを改めて感じることができます。大好きな人、大切なもの、明日もかならずそばにあるとは限りません。別れは突然やってきます。その時に、後悔しないよう、あの時言葉にして伝えていたらと思わないように、日々、伝えることを意識しながら過ごしたいですね。しっかりと言葉にして、「ありがとう」「ごめんね」「だいすきだよ」と、言えるということは、その相手としっかりと向き合うことにもつながるのではないのでしょうか。図書室には、心も体も成長した皆さんに読んで欲しい絵本も置いてありますので是非手に取ってみてくださいね。